

数学科 2年

箱ひげ図を分析し、レジ横戦略をたてよう

担当 高木 博也

【活動の目標】

商品の売れ行きの傾向について、箱ひげ図の四分位数や四分位範囲、箱の位置やひげの長さに着目し、比較する活動を通して、根拠をもって判断することができる。

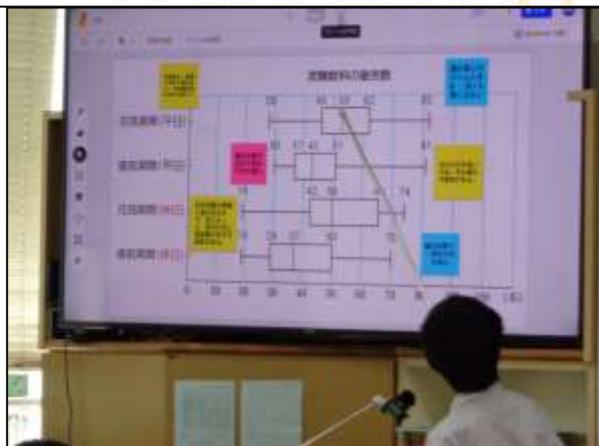
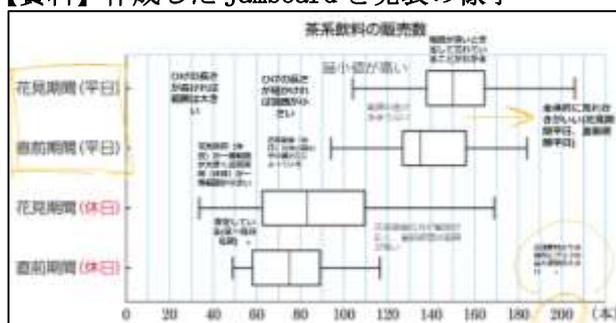
【 問 い 】

- ・花見期間の売り上げを増やすために、どの商品をレジの横に置くか考える活動。(問いの工夫Ⅰ)
- ・直前期間と花見期間でのそれぞれの商品の売り上げの傾向にはどのような違いが見られるか。

(問いの工夫Ⅱ)

今回 ICT を活用した場面	従来 の活動
A1 教員による教材の提示 導入での場面設定と問題の確認を、スライドを使って行う。 問題の資料をデータとして配信する。	写真を用紙に印刷したり、模造紙に問題を書いたりし、黒板や教室前方に貼っていた。
C2 協働での意見整理 箱ひげ図を貼付した Jamboard にどの部分からどのようなことが読み取れるのか書き込み、考えを整理する。	A3 等の用紙に、事前に箱ひげ図を記載しておき、ペンで書きこんでいた。または、ホワイトボードに考えを記入していた。
C1 発表や話し合い 書き込んだ Jamboard をモニターに映し、差し棒で示しながら説明する。	考えを書き込んだ用紙やホワイトボード等を黒板に掲示し、説明していた。

【資料】作成した Jamboard と発表の様子



【ICT 機器を活用する良さ】

- 思ったことを書いたり、修正したりできるため、試行錯誤がしやすい。
- 議論をしながら同時編集ができるため、様々な見方や考え方に触れやすい。
- モニターが大きいため、作成した資料を共有しやすい。また、データをフォルダに保管しておくことで、見比べたり、振り返ったりすることが容易になる。

【改善すべき点と原因および改善案】

- ・時間設定に十分な配慮が必要
- ⇒原因は、「考えをもつ」「考えを記入する」「議論し練り上げる」ため、やることが多く、様々な見方や考え方に触れるための発表時間を確保する必要がある。
- ⇒改善案として、2時間設定にし、活動の時間を十分確保することが考えられる。